

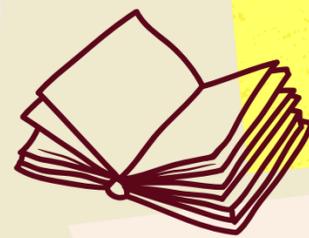
# 研修、何する？

2022年度ウリング横浜研修受講者  
約2,000人に聞きました！

各階層で、  
必要だと思う研修テーマは？

組織内での人材育成。  
どんな研修が必要なのか、  
他の施設はどんなことをしているか？  
迷うことはありませんか？

内部研修の実施や  
派遣研修の参考にしてみてください！



## 初任者

- ①新卒入職後、  
1～2年の職員
- ②他業界から福祉職場へ  
入職後1～2年の職員

## 中堅職員

担当業務の独自遂行が  
可能なレベルの職員  
(入職後、概ね3年以上  
の職員)

## チームリーダー

- ①現に主任・係長等に就い  
ている職員
- ②近い将来チームリーダー  
等の役割を担うことが想定  
される中堅職員

## 管理者

- ①現に小規模事業管理者・  
部門管理者等に就いている  
職員
- ②近い将来管理者の役割を  
担うことが想定される指導  
的立場の職員

# 初任者



法人や事業所で行う新人研修では、法人理念や具体的業務について研修が行われています。その先に必要とされるのは、利用者や家族、職場内でのコミュニケーションスキルに関する研修の必要性が最も多く上がっていました。また、支援者として、基盤となる価値や倫理、基礎的な知識など、福祉職としての基盤づくりとなる学びの機会が求められています。

## コミュニケーション

- ・ 職員間や上司との向き合い方等、職場内での人間関係づくり
- ・ 福祉職として必須である利用者・家族とのコミュニケーション能力を高めるもの

## 福祉職としての基礎知識

- ・ 福祉職として必要な価値、倫理、人権、心構え
- ・ 障害、病気の基礎知識、制度やサービスの概要

## 社会人として仕事をするうえでの基礎知識

- ・ 社会人としてのマナー（メール、電話でのやりとり）
- ・ 社会人としての心得、責務、接遇
- ・ 基礎的なパソコン操作
- ・ 報告、連絡、相談の方法

## キャリア形成

- ・ 組織の中での自分の役割を認識する
- ・ これからのキャリア構築、キャリアアップを考える



# 中堅職員

現場の最前線で活躍する中堅職員には、福祉専門職として知識を深めると同時に視野を広げるテーマが多く上げられました。また、先輩職員として、後輩職員の育成も求められています。

## 福祉職としての専門知識

- ・ 認知症
- ・ 虐待防止、権利擁護
- ・ 医療連携、疾患の理解
- ・ 介護技術
- ・ 様々な障害理解と対応
- ・ 制度理解

## 多(他)職種連携、多(他)機関連携

- ・ 地域資源、社会資源の理解
- ・ 他職種が関わるケースへのアプローチ方法
- ・ 地域との連携
- ・ 事例検討

## メンバーシップ、チームビルディング

- ・ 中堅職員の役割を意識するもの
- ・ ファシリテーション
- ・ アサーティブコミュニケーション
- ・ 傾聴
- ・ ストレスケア

## 後輩育成

- ・ OJTの手法
- ・ 新人育成の手法



# チームリーダー

リーダー層には、現場の職員が力を発揮できるようリーダーシップや職員の育成に関する項目が多く上げられました。また、次世代の管理職候補となるため組織運営や人事管理に関する知識についても求められています。



## リーダーシップ、チームビルディング

- ・リーダーの役割
- ・仕事の任せ方
- ・成果を生むチームづくり
- ・ファシリテーション

## 組織運営・マネジメント

- ・組織運営、人事管理
- ・管理職補佐としての役割確認

## 職員育成、人材育成

- ・スーパーバイズの手法、スーパーバイザーの育成
- ・ティーチング、コーチング
- ・アサーション

## メンタルヘルス

- ・自分自身のストレスマネジメント
- ・職員、チームの対してのメンタルケア



# 管理者



組織管理、運営に関する内容が多く上がる一方で、世代が離れる部下とのコミュニケーションや注意の仕方などのニーズも高くなりました。また、ハラスメントについても継続的に取り組むテーマとして必要とされています。

## 組織管理、運営

- ・採用関係
- ・人事考課制度
- ・労務管理
- ・コンプライアンスや虐待に関する指導方法
- ・法規
- ・危機管理
- ・経営、財務管理

## メンタルヘルス

- ・離職の防止
- ・パワーハラスメント
- ・セルフケア、ストレスマネジメント
- ・復職者の支援

## 部下とのコミュニケーション

- ・若い世代の価値観や働き方の理解
- ・指導の手法（叱り方、褒め方）
- ・ティーチング コーチング
- ・風通しの良い職場づくり

## 人材育成

- ・職員のキャリアアップ
- ・研修計画、研修実施
- ・スーパービジョン
- ・個別面談の手法

